

委託事業実施内容報告書

平成 22 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 ジェンテ・ミウダ

1 事業の趣旨・目的

外国人集住率が全国で一番高く(総人口の約15%)、その中でも8割近くがブラジル人という大泉町では、母語で生活できる環境があることから、日本語が十分でない外国人が少なくない。そのため、医療機関や生活の中で十二分なコミュニケーションがとれず、不安を感じたり、必要な情報が得られないこともある。また、地域での共生においても、言葉の壁が依然として高い。

一方では、リーマンショックにより離職を余儀なくされた外国人の中には、「安定した仕事に就くためには、日本語を学びたい」という意識が高まり、特に外国人学校に子どもを通わせる保護者やその周囲では、「日本に住むのであれば、日本語を」という声も多い。

そこで、生活上・仕事上のエチケットやマナーなど、場面に応じた「ていねいな日本語」を教えることで、日常生活においてスムーズなコミュニケーションがとれるような学習を行う。更には、介護や保健に関する日本語を学ぶことで、その分野への関心を高めることも目的とする。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
第1回 平成 22 年 4 月 30 日 (金) 午後 6 時～午後 9 時		① 外国人に関する地域の状況について ② 事業の進め方について ③ 教室の周知方法等について ④ テキスト等について	左に関する 意見交換、 課題整理ほか
第2回 平成 22 年 8 月 24 日 (火) 午後 6 時～午後 9 時		① 日本語教室各授業の状況について ・受講者、講師、授業の内容など ・授業を実施している中での課題など ② 今後の進め方について	同上
第3回 平成 23 年 1 月 18 日 (火) 午後 6 時～午後 7 時		① 日本語教室各授業の状況について ・受講者、講師、授業の内容など ② 授業の成果、課題など ③ 成果の発表について	同上

3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称:「日本語 はじめの一步」「日本語大好き」
- ② 開催場所:ジェンテミウダ校
- ③ 学習目標:
 - ・ていねいな日本語を使ったあいさつや日常会話をはじめ、地域で生活するために日本人住民と円滑なコミュニケーションがとれるようになる
 - ・日本語を学ぶことで、地域の日本人住民とのパイプ役になれる人材を育てるとともに、安定した生活を営むための日本語能力を身につける
- ④ 使用した教材・リソース:
- ⑤ 受講者の募集方法:ポスターを作成し、町内店舗等に掲示するほか、生徒の保護者等を通じて募集
受講者の総数 62 人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- ⑥ 開催時間数(回数) 198時間 (全105回)

日本語教室の具体的内容

※国籍は全員ブラジル、母語は全員ポルトガル語

1 日本語 大好き ステップアップクラス（平日 15:00～17:00 が基本）

（月曜日教室）

回	開催日	時間数	受講 人数	教授者・ 補助者人数	内 容
1	5月17日	2時間	15	教授者1人 補助者1人	ひらがな（しりとり）、自己紹介 等
2	24日	〃	16	〃	誘いかけ言葉、天気の違い方 等
3	31日	〃	16	〃	過去形（前日の行動の発表・問答） 等
4	6月 7日	〃	15	〃	部屋にある物の表現 等
5	21日	〃	16	〃	学習者同士の一日の行動の聞き取り 等
6	28日	〃	16	〃	前回の復習、日本人と話す 等
7	7月 5日	〃	14	〃	いろいろな動作の表現、丁寧語の学習 等
8	12日	〃	13	〃	丁寧語の書きとり、味・色・大きさの表現 等
9	26日	〃	14	〃	過去の出来事の感想発表 等
10	8月 2日	〃	15	〃	プレゼントの相談の仕方、家族の名称 等
11	30日	〃	15	〃	夏の思い出の発表 等
12	9月27日	〃	15	〃	色の名前（色塗り）、絵本を読む 等
13	10月 4日	〃	15	〃	依頼する言葉 等
14	18日	〃	14	〃	学校や保育園などで使う言葉 等
15	25日	〃	14	〃	要望する言い方 等
16	11月 1日	〃	14	〃	依頼する言い方 等
17	8日	〃	15	〃	動作の言い方、依頼する言い方 等
18	15日	〃	15	〃	自己紹介（好きなこと）シート記入
19	22日	〃	14	〃	カードを使った形容詞の学習 等
20	29日	〃	14	〃	形容詞を使った否定の言い方 等
21	12月 6日	〃	14	〃	日本の絵本物語を使った学習 等
22	13日	〃	14	〃	〃
23	17日	〃	10	〃	日本語の読み方 アクセント練習 等
24	1月22日	〃	10	〃	まとめ、アクセント練習と発表
			延343人		

（火曜日①教室）

回	開催日	時間数	受講 人数	教授者・ 補助者人数	内 容
1	5月18日	2時間	20	教授者1人 補助者1人	【レベルチェック】文字・表記／口頭

2	5月25日	〃	17	〃	【性格や外見を表現する】親族名詞の確認・性格／外見を表す言葉
3	6月12日	〃	14	〃	【描写する】人の動作や風景を説明する
4	6月8日	〃	13	〃	【言葉の地図を作る】種類別に言葉をリストアップ／好き嫌い、得意不得意
5	6月15日	〃	12	〃	【読解力を養う①】イラストを見て、その様子を想像する 物事の順を考える
6	6月22日	〃	11	〃	【読解力を養う②】図や表を見て、内容を読み取る
7	6月29日	〃	14	〃	【意見を言う①】主張が異なる文を読んで、その内容に基づいた意見を述べる
8	7月6日	〃	12	〃	【七夕の願いを書く】※日本文化 学習した表現を使い、短冊に願いを書く（可能形）
9	7月13日	〃	10	〃	【意見を言う②】主張が異なる文を読んで、自分の意見を述べる
10	7月20日	〃	13	〃	【説明する】ロールカードを使い、誘いや説得の場で使用される言語表現を学ぶ。ポイントは状況の説明。
11	7月27日	〃	17	〃	【今までの出来事を説明する】1回目～9回目まで学習した表現を使い、それらを順を追いながら説明する。
12	8月3日	〃	15	〃	【ゲーム】日本語だけで話すルールのもと、ゲームを行う。今まで学習した内容でゲームを進めるようにする。
13	10月5日	〃	14	〃	【ニーズ調査】興味のあることについて話し合う→「興味のあることを調べて発表する」
14	10月12日	〃	12	〃	【ゲーム】ルールは日本語で話すこと。
15	10月19日	〃	13	〃	【テーマを決める】グループ分け（2つ）オールデンエプログレッソ／ユニオン
16	10月26日	〃	14	〃	【調査項目を決める】テーマについて調べるべきことをリストアップ
17	11月2日	〃	12	〃	【発表のための表現を学ぶ】テーマの中で必要となる言語表現（語彙・定型構文）を学ぶ。
18	11月9日	〃	15	〃	【内容をまとめる】トピック事に内容をまとめる→その内容を日本語化する。
19	11月16日	〃	14	〃	【発表の流れを知る】イントロ→本体→まとめ 特に、イントローでの言い方を学ぶ
20	11月30日	〃	13	〃	【本文を作成する】フォームに従って本文を作成する。
21	12月7日	〃	12	〃	作成した原稿をワードに日本語で入力する。

22	12月14日	〃	12	〃	丁寧な言い方を学ぶ
23	1月11日	〃	12	〃	〃
24	1月18日	〃	11	〃	〃
25	1月22日	〃	11	〃	まとめ、日本とブラジルの地理的な特徴：地理、気候、生物多様性などを日本語で伝える
			333		

(水曜日教室)

回	開催日	時間数	受講人数	教授者・ 補助者人数	内 容
1	5月26日	2時間	14	教授者1人 補助者1人	挨拶の言葉、自己紹介、家族の呼び方 等
2	6月9日	〃	14	〃	自己紹介、ひらがなの読み書き 等
3	16日	〃	14	〃	ひらがな、カタカナの読み書き 等
4	23日	〃	14	〃	〃
5	30日	〃	14	〃	自宅の近辺の店舗・建物等の発表 等
6	7月14日	〃	14	〃	日本の文化にまつわる日本語学習 等
7	21日	〃	14	〃	色・模様の呼び方 等
8	8月28日	〃	14	〃	促音の発音、漢数字の読み書き 等
9	18日	〃	10	〃	ひらがな、カタカナの読み書き 等
10	25日	〃	13	〃	絵を使った体の名称 等
11	9月8日	〃	13	〃	単語の学習 等
12	15日	〃	15	〃	〃
13	22日	〃	12	〃	場所の名称を覚える 等
14	29日	〃	12	〃	〃
15	10月13日	〃	12	〃	「ウ」の文字がつく単語の学習 等
16	20日	〃	12	〃	反意語の学習 等
17	27日	〃	12	〃	文字の意味・役割の学習 等
18	11月17日	〃	10	〃	動作を表す言葉、「ふ」「ゆ」文字がつく単語の学習 等
19	24日	〃	11	〃	「火」「水」など生活に必要な言葉の学習 等
20	12月8日	〃	11	〃	カードを使って手紙を書く 等
21	15日	〃	12	〃	しりとりからたくさんの言葉の学習 等
22	22日	〃	12	〃	くだものや野菜の名称の学習 等
23	1月12日	〃	12	〃	漢字の読み書き練習 等
24	19日	〃	10	〃	〃
25	1月22日		10	〃	〃 　　まとめ
			延 311 人		

(火曜日②教室 木曜日教室)

回	開催日	時間数	受講 人数	教授者・ 補助者人数	内 容
1	5月20日	2時間	12	教授者1人 補助者1人	挨拶の仕方、家族の呼び方、漢数字 等
2	25日	〃	12	〃	動作の言い方、依頼する言い方 等
3	27日	〃	12	〃	「私の一日」の発表 等
4	6月 8日	〃	12	〃	5W1Hの形での話し方 等
5	10日	〃	12	〃	過去形、否定語 等
6	15日	〃	12	〃	反意語 等
7	17日	〃	11	〃	位置を表す言葉 等
8	22日	〃	11	〃	二人一組での会話 等
9	24日	〃	10	〃	5W1Hの形の作文発表 等
10	29日	〃	12	〃	昔話の読み聞かせ、数・時間の読み方 等
11	7月 8日	〃	12	〃	漢字学習、カタカナの言葉作り 等
12	20日	〃	11	〃	店員・客になって買い物の会話 等
13	22日	〃	11	〃	単語を並び替え文の作成、発音練習 等
14	29日	〃	11	〃	これ、あれ、どれ等の場面にあった言葉 等
15	8月 3日	〃	11	〃	「どんな+名詞」の文、暑中見舞いはがき 等
16	19日	〃	11	〃	いろいろな数え方、買い物時の言葉 等
17	26日	〃	11	〃	地図を見ての方角の言い方 等
18	31日	〃	11	〃	動き、数の数え方、時刻の読み方 等
19	9月 9日	〃	11	〃	いつどこだれなどの助詞や代名詞 等
20	14日	〃	12	〃	～で～を～する・しない等の語の変化 等
21	16日	〃	11	〃	過去の否定型 等
22	21日	〃	13	〃	いきます→いかない等の動詞の語幹の変化 等
23	28日	〃	13	〃	希望(～したい)、比較の言い方 等
24	30日	〃	13	〃	最上級、比較の文型 等
25	10月12日	〃	12	〃	簡単な群読 等
26	19日	〃	12	〃	「～してください」の言い方 等
27	21日	〃	12	〃	～から～(順接)、～けど～(逆接) 等
28	26日	〃	12	〃	動詞の進行型 等
29	28日	〃	12	〃	「～して～して～します」等動作の重ね 等
30	11月 9日	〃	13	〃	形容詞を「～して」等でつなぐ言い方 等
31	11日	〃	13	〃	二つの行動を前後関係のある言い方 等
32	16日	〃	13	〃	許可を求める言い方 等

33	18 日	〃	11	〃	想定の言い方 等
34	11 月 25 日	2 時間	12	〃	干支、一年間の行事 等
35	30 日	〃	13	〃	「～ができる」言い方 等
36	12 月 7 日	〃	12	〃	試み、断定の言い方 等
37	9 日	〃	10	〃	「～やすい」「～にくい」言い方 等
38	14 日	〃	11	〃	場所、目的が入る言い方 等
39	16 日	〃	10	〃	仮定の言い方 等
40	1 月 11 日	〃	12	〃	お正月の風習や遊び、成人式の学習 等
41	13 日	〃	12	〃	助詞の使い方 等
42	18 日	〃	11	〃	「～になる」、「～になりたい」の文型 等
43	20 日	〃	12	〃	対になる言葉、(前後、大小、長短等)の言葉等
44	21 日	〃	10	〃	これまでの復習
45	22 日	〃	12	〃	まとめ、会話の練習と発表
			延 525 人		

・日本語 はじめの一步 (2 時間 基本 18:00~21:00)

回	開催日	時間数	受講人数	教授者・補助者人数	内 容
1	5 月 18 日	2 時間	11	教授者 1 人 補助者 2 人	【レベルチェック】文字・表記／口頭自己紹介。
2	5 月 25 日	〃	9	教授者 1 人 補助者 1 人	【性格や外見の表現】性格／外見を表す言葉。丁寧に話す：～です・～ます体、～と思います。
3	6 月 12 日	〃	12	教授者 1 人 補助者 2 人	【描写する】絵を見て表現する ～ている、位置表現
4	6 月 8 日	〃	11	〃	【紹介する】1~2 回のまとめ：他の人を紹介 語彙のリストアップ ～ている [名詞]
5	6 月 15 日	〃	14	〃	【説明する①】道案内をする 料理の材料などを説明する 料理をするときに必要な道具をリストアップ
6	6 月 22 日	〃	12	〃	【言葉の地図を作る】調理動詞を学ぶ 順を追って説明する ～になる (変化)
7	6 月 29 日	〃	11	〃	【復習】※復習。て形・～ている・連体修飾 助詞と動詞を組み合わせる
8	7 月 6 日	〃	8	〃	【復習】助詞 (に、を、でなど)、～ている 学習した表現 (可能形+～ますように)
9	7 月 13 日	〃	8	〃	【比較する】5W1H 形式を使い、質問に答えていく形 (ガイド) で長く言う練習。辞書形、～たことがある

10	7月20日	〃	9	〃	【経験話す】前回の「～たことがある」を使い、失敗談・困ったことなどの経験を話す。 絵カードで動詞を増やす。～（だ）と思う、～てしまう
11	7月27日	〃	13	〃	【再配達をお願いをする①】再配達の紙から必要な情報お読み取る(スキャニング) お願いの仕方(順番)
12	8月3日	〃	14	〃	【再配達をお願いをする②】言語形式に注目： ～ばいいです、～（なん）ですなど
13	10月5日	〃	15	〃	【ニーズ調査】生活上の困ったことを話す →日本語でできるようになったらいいと思う」事柄を一つずつ解決していく。
14	10月12日	〃	12	〃	【前学期の復習】 電話、質問、依頼(再配達)、道案内など／助詞
15	10月19日	〃	13	〃	【理由を説明する】2択を比較しながら説明 ～ならどっちがいい？、～と～を比べると、
16	10月26日	〃	12	〃	【描写・説明の表現を学ぶ】絵を見て、1カットずつ描写する ストーリーテリング
17	11月2日	〃	12	教授者1人 補助者1人	【話の切り出し方を学ぶ】～んですが… [目的]に行くんです、[目的]に来たんですが
18	11月9日	〃	11	教授者1人 補助者2人	【授受表現を学ぶ】プレゼントの名詞・動詞(あげる・くれる・もらう)を学ぶ。
19	11月16日	〃	13	〃	【買い物の流れを話す】お店の種類(名詞) 切り出し→用件→希望→他の選択肢
20	11月30日	〃	13	〃	【早退を申し出る】早退をお願いする：対人関係(上司、友だち) 症状・体調の説明
21	12月7日	〃	14	〃	【早退の許可・シフトを代えてもらう】 日程(時間、曜日を)代えてもらう：対人関係(上司、友だち) 症状・体調の説明
22	12月14日	〃	15	教授者1人 補助者1人	【日程調整・理由を言う】 話の切り出し、比較→ロールプレイ(クラスの中で日程調整を行う)
23	1月11日	〃	15	〃	【病院に行く】～科、症状 他の人に相談する、医者に診てもら ～ばいいですか？、～ばいいですよ
24	1月18日	〃	14	〃	【勧める・発表の練習】～たほうがいいですよ
25	1月22日	〃	15	〃	まとめ、会話の練習
			306		

3 介護・看護の分野に役立つ日本語（2時間 基本 15:00～17:00）

回	開催日	時間数	受講 人数	教授者・ 補助者人数	内 容
1	8月 5日	2時間	9	教授者 3人 補助者 3人	身体の名称
2	8日	〃	32	教授者 2人 補助者 2人	薬剤について（名称や注意、買い方など）
3	8月 17日	〃	33	教授者 3人 補助者 3人	身体の名称
4	19日	〃	11	教授者 3人 補助者 3人	感染症、インフルエンザや病院のかかり方
5	23日	〃	34	教授者 3人 補助者 3人	〃
6	24日	〃	35	教授者 2人 補助者 2人	薬剤について（名称や注意、買い方など）
7	26日	〃	9	教授者 3人 補助者 2人	身体と水（熱中症、夏の病気）、看護の言葉
8	9月 1日	〃	33	教授者 3人 補助者 2人	ライフライン、思春期と体、看護の言葉
9	2日	〃	11	教授者 3人 補助者 2人	〃
10	6日	〃	39	教授者 2人 補助者 4人	生命の誕生と看護、介護の言葉
11	7日	〃	12	教授者 3人 補助者 4人	〃
12	9日		14	教授者 2人 補助者 4人	赤ちゃんの世話、看護の仕方と言葉
13	13日		31	教授者 3人 補助者 4人	〃
14	9月 16日		11	教授者 1人 補助者 4人	栄養のとりかた
15	9月 23日	〃	32	教授者 2人 補助者 2人	薬剤の読み方、買い方 等
小 計			346		

その他、学生ボランティア（無償）が適宜参加

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)



日本語成果報告会風景①

(日本語で書いた手紙の朗読)



日本語成果報告会風景②

(日本語学習支援者や家族などが傍聴)



日本語成果報告会風景③

(ブラジルの歴史や文化を日本語で説明)

⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
			44	授業補助, 通訳
			25	〃
			25	〃
			25	〃

渡部孝一	〃	22年	25	〃
角田加代子	〃	22年	28	〃

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

氏 名	所 属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
			2	授業補助
			2	授業補助
			2	授業補助
			10	アドバイザー
			10	〃

4 事業に対する評価について

(1) 成果及び評価

- ① 地域の特色(日系人の集住地域)を活かし、ブラジル人学校で日本語教室設置したことで、受講者にとって学習に参加しやすい環境を提供したと思われる。
- ② 介護や看護の分野で役立つ日本語では、体の名称をはじめ、病院にかかる際の症状などの日本語を学べたほか、インフルエンザ予防の意味やニュースなどで耳にする熱中症などの名称を学習することができた。
- ③ 日常で生の日本語会話を使う機会が無かったり、日本語を使用する勇気が持てない外国人は少なくないが、大学生などのボランティアを活用することで、日本語会話の機会が確保できた。

(2) 課題

＜日本語レベル向上のインセンティブの確保＞

経済悪化で雇用先を失った外国人の多くは「日本語の習得」の必要性を痛感し、一時的にはさまざまな日本語教室を受講していたが、雇用の確保ができた後には日本語学習を中断、中止してしまうケースも少なくなかった。

本事業においては、日本に定住するために日本語を習得したいと考える受講者が多く、学習も継続できたが、今後はさらに日本語のレベル向上のインセンティブが必要となると考える。またそのためには、継続した日本語教育とその充実が重要である。

＜実際の会話機会＞

日常において日本語を使用する機会が少ない外国人や、日本語の必要な場面でも通訳や日本語ができる友人等に説明を任せるといったケースが依然として多いが、今後もボランティアなどを活用した日本語会話の機会を模索していきたい。